

<統一テーマ>

Print + α

プリントメディアの新たな挑戦！

統一テーマは「Print + α プリントメディアの新たな挑戦！」です。

印刷業界は厳しい経済状況と、IT技術の革新および電子メディアの台頭などの激しい環境変化の波にさらされています。このような状況の中、従来のフレームワークにとらわれない新たな「+ α」(付加価値)を創出していく必要性に迫られているという意味でこのテーマとしました。

具体的には印刷技術の革新、ソリューションの進化、電子メディアへの対応、新しいビジネスの創出などによる「+ α」を目指し、新たな挑戦をし続けることを意味しています。

また JGAS2013 では、このようなプリントメディアの新たな挑戦を全世界に発信するため、従来の印刷<機材展>にとどまらない様々な「+ α」を企画・実施いたします。

<イベント概要>

+Session 特別講演、パネルディスカッション、セミナー

展示会場内に大規模セミナールームを併設し、特別講演、パネルディスカッション、セミナー等のイベントを開催し、経営者を含む購買決定者の方々の来場を促進します。

具体的には、パネルディスカッション及び関連イベント、(社)日本印刷技術協会との協賛によるプレミアセミナー、全国印刷工業組合連合会によるイベント、見どころポイント解説セミナー等を開催します。この他、中規模なセミナールームを設け、多数の出展者セミナーも開催する予定です。

+Park 多彩なテーマゾーン

JGAS2013 では、プリプレス・プリメディア、印刷機械、ポストプレス、紙工機械、印刷関連資材、周辺機器等に関する新製品、最新技術、サービスを一堂に展示します。

これに加え、来場者に対して効果的なプロモーションを可能にするため、小規模出展者を対象に、テーマを絞った多彩なテーマゾーンを設置します。合わせて、小間料金とブース施工費をセットにした、お手軽な価格のパッケージブースメニューも用意し、小規模出展者の方にも出展しやすくします。

具体的には、パッケージ印刷・フレキシ印刷、マーケティング、デザイン制作ソフト、トータルワークフロー、サイン・ディスプレイ、デジタルパブリッシング等のテーマゾーンを予定しています。この他、IGAS、JGASでは恒例の、全国の大学の最新の研究成果を展示する先進技術に関するテーマゾーンも予定しています。



+Tour 見学ツアー

見どころポイント解説セミナーと連動して、実際に会場内をテーマ別に見学するツアーを行います。出展者にとっては、自社の製品、技術、サービスをPRする絶好の機会でもあります。

+Live Studio 出展企業PRスポット

出展者のPR動画配信サービスやライブインタビューなどの広報宣伝イベント等を実施する特別スペースを設けます。またこのスペースに、充実した商談スペースを設置し、出展者によるPRや商談に役立てていただきます。また、フードコートも充実させ、来場された方々への「憩いの場」を提供します。



<出展メリット>

- ① 短期間に多数の顧客にPRすることができ、新製品の発表やブランド認知の場として最適です。JGAS2009 では約 7 万人の来場者があり、海外からも 19 カ国から来場がありました。また、来場者のうち約 46%が、購買決定権があるもしくは購買への影響力があるという回答でした。
- ② 他社の顧客を含め、従来接触することのできない幅広い潜在顧客にアプローチすることができます。JGAS2009 における来場者の業種割合は、印刷関連 45%、紙工・製本関連 9%、プリプレス関連 7%、企画デザイン関連 6%です。また職種割合は営業・販売 32%、製造・生産 27%、技術・開発 12%、購買・仕入 4%となっています。
- ③ 実機でのデモを実際に見てもらうことにより、顧客に具体的で説得力のあるプレゼンをすることができるため、受注に結びつく可能性が高くなります。JGAS2009 の出展者アンケートでは、出展者の約 74%が見積りや注文の引き合いがあったと回答しています。
- ④ 展示会場内に本格的なセミナー会場を設置しますので、新製品や新技術のセミナーを開催でき、そのまま展示ブースへ誘導できます。
- ⑤ 出展者同士で取引やコラボレーションが実現する可能性があります。実際、実機によるデモ等において、出展者同士のコラボレーションによる新しいかたちのプレゼンテーションが行われています。
- ⑥ 多くの報道・マスコミ関係者が来場するため、メディアで取り上げられる可能性が非常に高くなります。実際過去の JGAS においても、日経新聞等多くのメディアにとりあげられました。